

鳴門第一高校・鳴門工業高校の再編統合に係る計画

平成21年3月

徳島県教育委員会

目 次

1	新高校の概要	1
2	教育の基本方針	2
3	設置学科	3
4	教育内容	3
	図1 新高校における教育のイメージ	5
5	再編統合の方法	6
	図2 現行と再編統合後の比較	7
	図3 再編統合の過程	8
6	教育環境の整備	10
7	開校に向けた取り組み	10

1 新高校の概要

(1) 開校年度

徳島県立鳴門第一高校と鳴門市立鳴門工業高校を再編統合し、平成24年度に徳島県立の新高校を設置する。

ただし、平成22年度、平成23年度に鳴門第一高校、鳴門工業高校に入学した生徒は、平成24年度に新高校に転学し、新高校の生徒として卒業する。

(2) 教育の概要

新高校においては、鳴門第一高校の総合学科と鳴門工業高校の情報理数コースの教育内容をもとに新たな総合学科を設置するとともに、本県初となる体育科を設置する。

(3) 設置場所

新高校は、現鳴門工業高校の校地に設置する。

ただし、新高校の施設の耐震化、施設・設備などの教育環境を整備する必要があるため、平成24年度から平成26年度までの間は現鳴門第一高校の校地(以下「撫養キャンパス」という。)と現鳴門工業高校の校地(以下「大津キャンパス」という。)の両校地において教育を行うこととする。

2 教育の基本方針

(1) 目指す学校像

生徒一人ひとりを大切にし、個性と能力を最大限に伸ばす学校

望ましい職業観、勤労観や社会奉仕の精神を育成する学校

時代の変化や生徒の多様なニーズに対応できる学校

人権尊重の精神の涵養に努め、豊かな心をはぐくむ学校

地域に開かれた、地域とともに発展する学校

(2) 育てたい生徒像

個性を最大限に伸ばし、自分の目標や夢の実現に向かって意欲的、積極的に取り組む生徒

インターンシップ(就業体験)など体験学習を通して勤労意欲を高めるとともに、社会規範を身につけた生徒

自ら学び、考え、生涯にわたって自主的、自立的に行動できる生徒

人権を尊重し、相手の立場に立って行動できる優しさや豊かな人間性を身につけた生徒

地域の一員としての自覚を持ち、ボランティア活動など学校内外の体験活動に進んで取り組むことのできる生徒

3 設置学科

学科	・ 系列	学科
総合学科 (5学級程度)	<ul style="list-style-type: none">・ 自然科学系列・ 人文科学系列・ 生活福祉系列・ 総合ビジネス系列・ 情報通信系列	体育科 (1学級)

4 教育内容

(1) 特色ある教育

学科の枠を越えた科目選択ができる総合選択制を導入し、総合学科と体育科の両学科の科目から幅広く選択できるようにする。

情報機器を活用した授業や発表の場の拡充を図り、情報活用能力、コミュニケーション能力及びプレゼンテーション能力を育成する。

体験的、実践的な教育を充実するため、大学や地域産業などと連携しインターンシップを実施するとともに、地域の優れた人材による社会人講話など、地域の教育力を活用する。

鳴門市の観光資源・特産物(「渦潮」,「大谷焼」,「なると金時」など)や偉大な業績を残した地域ゆかりの先人などについて学習する特色ある学校設定科目を開設し、地域に関する興味や関心を高める教育を行う。

地域の文化活動、スポーツ活動との連携を進め、地域に学び、地域に貢献できる能力を育てる教育を行う。

(2) 各学科の教育

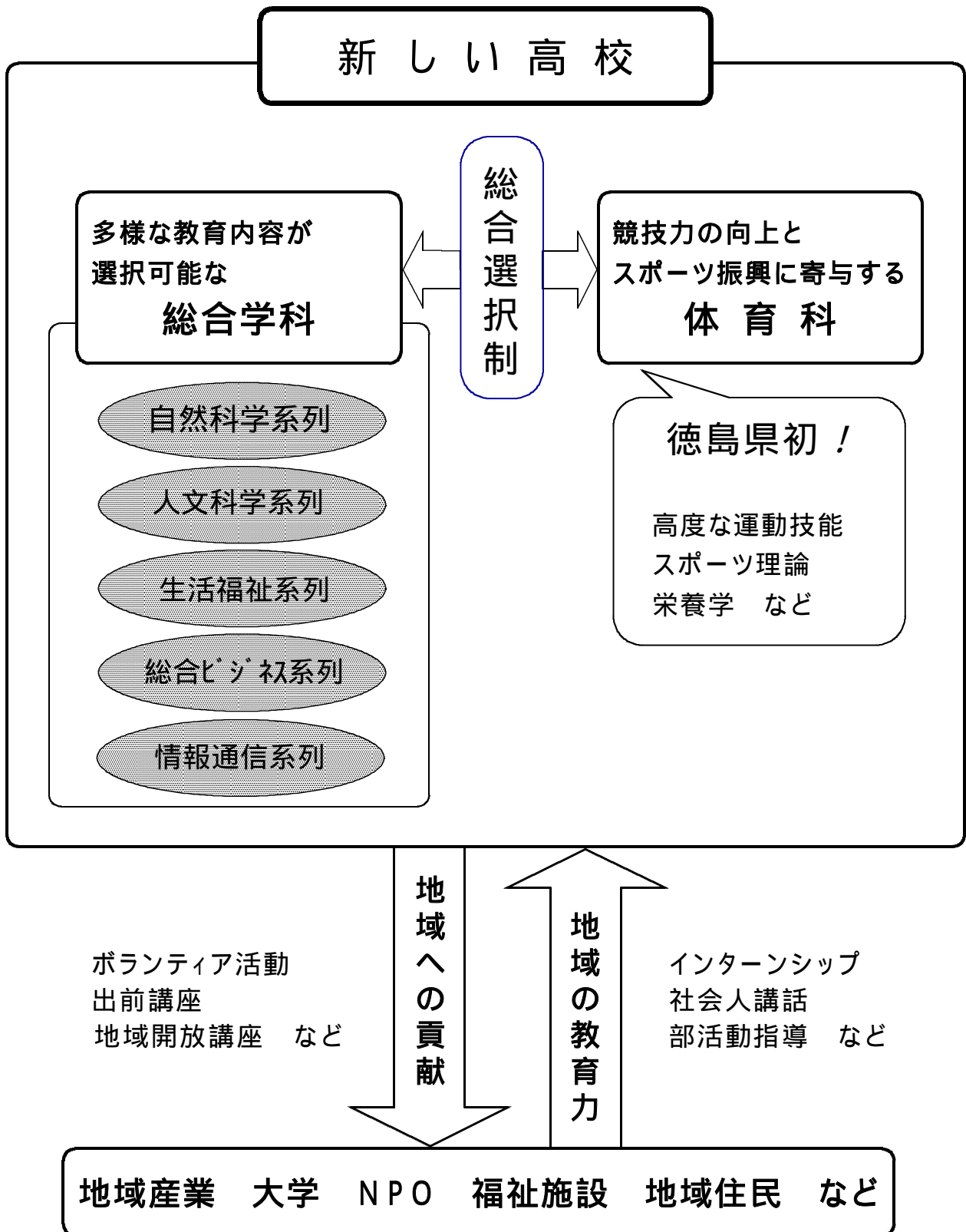
総合学科

自然科学系列	数学や理科など自然科学の学習を通して、ものごとを科学的に探究しようとする能力と態度を身につけ、工学部や理学部など、理系の大学や短期大学等への進学を目指す。
人文科学系列	国語、英語、社会など人文科学の学習を通して、コミュニケーション能力や表現力など、現代社会で必要とされる能力と態度を身につけ、文学部や法学部、教育学部など、文系の大学や短期大学等への進学を目指す。
生活福祉系列	健康や福祉に関する学習を通して、高齢社会に対応し地域福祉に積極的に貢献できる能力と態度を身につけ、福祉施設等への就職や福祉系大学、専門学校への進学を目指す。
総合ビジネス系列	ビジネス文書作成、経理事務の基礎から接客や販売実践に至るまでの学習を通して、多様なビジネスシーンに対応できる能力と態度を身につけ、事務、販売職等への就職や商業系大学、専門学校への進学を目指す。
情報通信系列	コンピュータ及びネットワークに関する基礎知識や技術の学習を通して、情報通信社会の発展に寄与する能力と態度を身につけ、工業関連企業への就職や工業系大学、専門学校への進学を目指す。

体育科

体育科	スポーツや健康に関する知識や全国レベルの高度な運動技能の習得を通して、知徳体の調和のとれた豊かな人間性を身につけるとともに、競技力の向上やスポーツ振興に寄与する能力と態度を身につけ、体育・スポーツの指導者などを目指した進学や競技実績を活かした大学進学、企業への就職を目指す。
-----	---

図1 新高校における教育のイメージ



5 再編統合の方法

新高校の施設の耐震化や、鳴門市及びその周辺地域の中学生に地域内の高校への進学機会を確保する必要があることなどから、次の方法で再編統合を行う。

(1) 平成22年度

鳴門工業高校工業類の3コースのうち、機械コース及び環境コースの募集を停止し、情報理数コースのみ募集を行う。

(2) 平成24年度〔新高校開校〕

鳴門第一高校に設置していた総合学科を改編し、撫養キャンパスに自然科学、人文科学、生活福祉、総合ビジネスの4系列からなる新たな総合学科を設置する。

大津キャンパスにおいて、工業類(情報理数コース)の募集を停止し、体育科を新設する。

(3) 平成26年度

総合学科に新たに情報通信系列を加え5系列とし、大津キャンパスにおいて教育を行う。

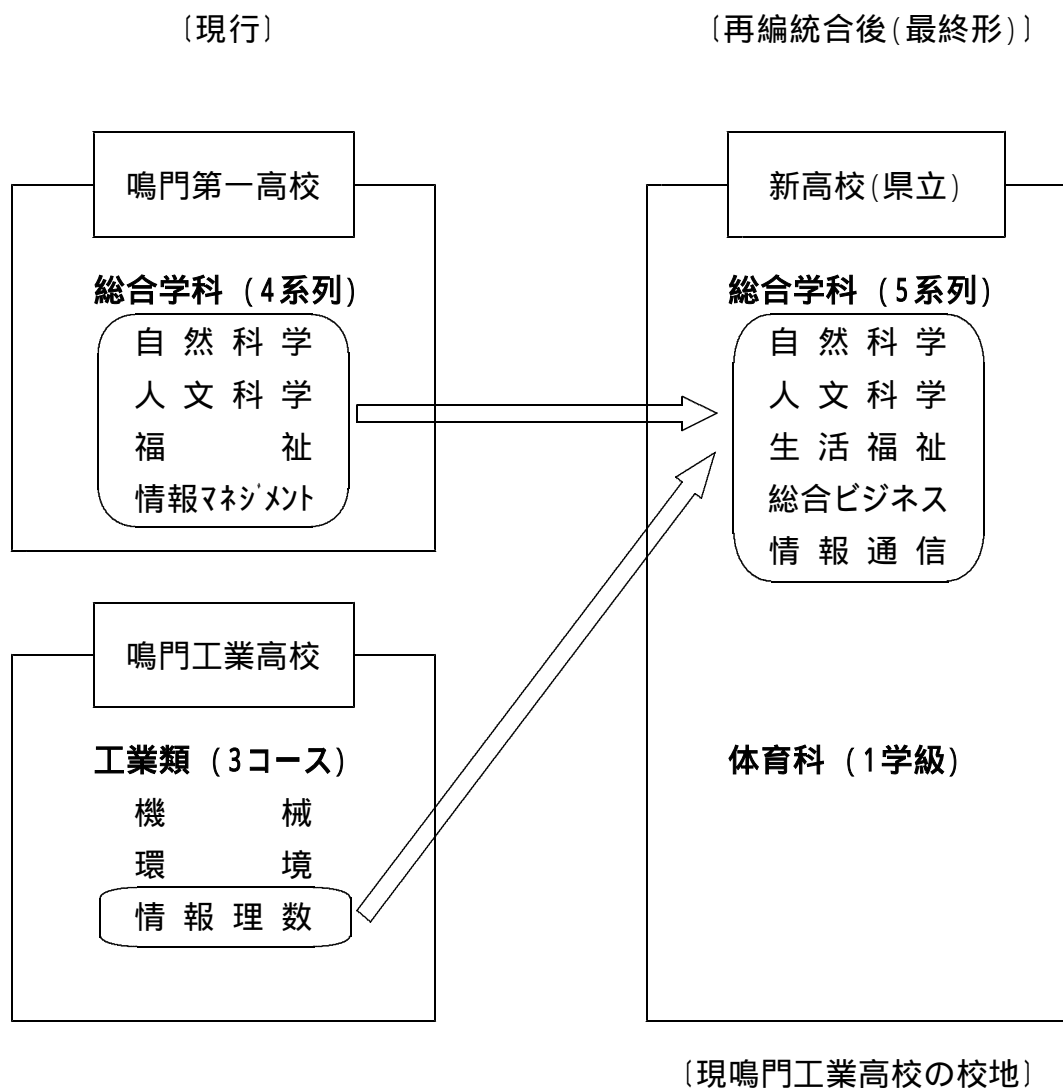
なお、総合学科(4系列)の2・3年生については、撫養キャンパスにおいて引き続き教育を行う。

(4) 平成27年度

校地を現鳴門工業高校の校地(大津キャンパス)に統合する。

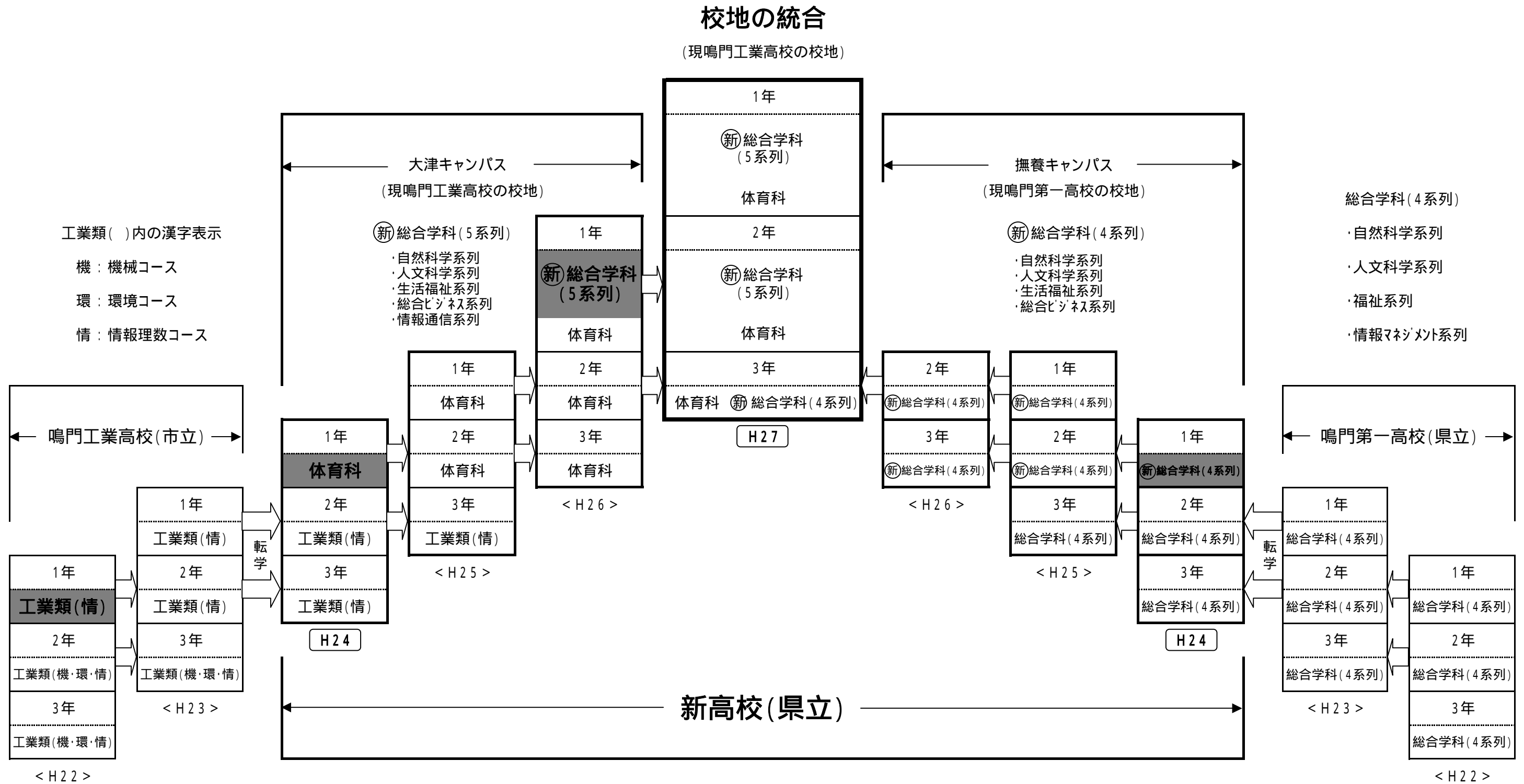
詳細は、図2(P7)、図3(P8～9)を参照

図2 現行と再編統合後の比較



【備考】 鳴門工業高校の機械, 環境の2コースは平成22年度に募集停止

図3 再編統合の過程



〔注〕 図中の太字(網掛け部)は、一部のコースを廃止した類と新学科の設置を意味する。

図中の白矢印(⇨, ⇩)は、学年進行を表す。

(1) 平成21年度までに鳴門第一高校及び鳴門工業高校に入学した生徒は、それぞれの学校の生徒として卒業する。

(2) 平成22年度に鳴門工業高校に入学した生徒は、平成22・23年度の2年間は鳴門工業高校に在学するが、平成24年度に新高校に転学し、新高校の生徒として卒業する。

平成23年度に鳴門工業高校に入学した生徒は、平成23年度は鳴門工業高校に在学するが、平成24年度に新高校に転学し、新高校の生徒として卒業する。

なお、平成22・23年度に鳴門工業高校に入学した生徒が所属する学科は、新高校開校時に大津キャンパスの2・3学年において設置し、卒業まで入学時の教育課程を継続する。

(3) 平成22年度に鳴門第一高校に入学した生徒は、平成22・23年度の2年間は鳴門第一高校に在学するが、平成24年度に新高校に転学し、新高校の生徒として卒業する。

平成23年度に鳴門第一高校に入学した生徒は、平成23年度は鳴門第一高校に在学するが、平成24年度に新高校に転学し、新高校の生徒として卒業する。

なお、平成22・23年度に鳴門第一高校に入学した生徒が所属する学科は、新高校開校時に撫養キャンパスの2・3学年において設置し、卒業まで入学時の教育課程を継続する。

平成25年度に新高校撫養キャンパスに入学した生徒は、平成27年度に現鳴門工業高校の校地(大津キャンパス)に移動する。

なお、平成25年度に新高校撫養キャンパスに入学した生徒が所属する学科は、平成27年度に現鳴門工業高校の校地(大津キャンパス)の3学年において設置し、卒業まで入学時の教育課程を継続する。

6 教育環境の整備

- (1) 既存の施設・設備を有効活用する。
- (2) 計画的に施設の耐震化を行う。
- (3) 必要となる施設・設備の整備を図る。

7 開校に向けた取り組み

開校準備委員会を設置し、開校準備を進める。

(1) 構成員

鳴門第一高校、鳴門工業高校及び県教育委員会、鳴門市教育委員会の関係職員

(2) 検討内容

学校運営に関すること

(学校の教育目標、学科の教育目標、教育課程、必要な教育施設、生徒募集、学則、諸規程など)

校名、校章、校歌、校旗、制服に関すること

教育環境の整備に関すること

円滑な統合を図るための学校間連携に関すること

その他(部活動など)